



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月28日

上場会社名 株式会社 アサックス

上場取引所 東

コード番号 8772 URL <https://www.asax.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草間 雄介

問合せ先責任者 (役職名) 総務統括部長 (氏名) 小林 一成

TEL 03-3445-0404

四半期報告書提出予定日 2020年11月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	2,929	4.2	2,042	6.2	2,043	6.2	1,324	6.3
2020年3月期第2四半期	2,812	7.6	1,923	10.9	1,924	10.9	1,245	10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	40.16	
2020年3月期第2四半期	37.76	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	76,176	38,122	50.0
2020年3月期	76,010	37,292	49.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 38,122百万円 2020年3月期 37,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2020年10月28日)公表の「配当予想の修正(増配)及び株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,693	2.2	3,846	5.0	3,847	5.0	2,505	4.4	75.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	32,980,500 株	2020年3月期	32,980,500 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	4,500 株	2020年3月期	4,500 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	32,976,000 株	2020年3月期2Q	32,976,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う緊急事態宣言の発出等を受けて、経済活動が大幅に制限されたことにより景気は急激に収縮し、戦後最大の落ち込みとなりました。緊急事態宣言の解除後は徐々に経済活動が再開された一方で、新規感染者数が再び増加に転じる等依然として収束時期の見通しは立たず、先行きは不透明な状況が続いております。

不動産金融市場においては、現時点における新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であり、都心近郊における住宅地・商業地の地価の大きな変動は見られないものの、オフィスや商業施設の需要減少による空室率の上昇がみられることや、感染症拡大の収束時期の見通しが立たない現状を踏まえて、今後の不動産の流動性や不動産価格の動向に留意する必要があります。

このような環境の下、当社においては、従来通り「債権の健全性」を重視した顧客開拓を行った結果、当第2四半期末における営業貸付金残高は、前事業年度末の72,267,419千円から1,658,981千円(2.3%)減少の70,608,437千円となりました。

当第2四半期累計期間における経営成績は以下の通りです。

営業貸付金利息は、期中平均営業貸付金残高が前年同四半期比4.9%の増加となったこと等により、前年同四半期比220,465千円(10.0%)の増加となりました。

その他の営業収益は、期中貸付額の減少等に伴い、手数料収入が前年同四半期比65,825千円(18.5%)の減少、解約違約金が前年同四半期比34,633千円(22.4%)の減少となったこと等により、前年同四半期比103,415千円(16.7%)の減少となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業収益は、前年同四半期比117,050千円(4.2%)の増加となりました。

金融費用は、期中平均有利子負債残高が前年同四半期比5.7%の増加となったものの、平均調達金利が低下したこと等により、前年同四半期比14,404千円(9.6%)の減少となりました。

その他の営業費用は、前年同四半期比12,656千円(1.7%)の増加となりました。

以上により、当第2四半期累計期間における営業費用は、前年同四半期比1,748千円(0.2%)の減少となりました。

営業外損益、特別損益ともに利益に大きな影響を与えるものはなく、法人税等合計は、前年同四半期比39,405千円(5.8%)の増加となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間における業績は、営業収益は2,929,311千円(前年同四半期比4.2%増)、営業費用は886,937千円(同0.2%減)となり、営業利益は2,042,373千円(同6.2%増)、経常利益は2,043,192千円(同6.2%増)、四半期純利益は1,324,318千円(同6.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

流動資産

当第2四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末の75,326,724千円から174,704千円(0.2%)増加の75,501,428千円となりました。これは主として、営業貸付金が1,658,981千円(2.3%)の減少となったものの、現金及び預金が1,841,291千円(68.1%)の増加となったこと等によるものです。

固定資産

当第2四半期会計期間末における固定資産は、前事業年度末の683,987千円から9,200千円(1.3%)減少の674,786千円となりました。これは主として、投資その他の資産のその他に含まれる保証金が減少となったこと等によるものです。

② 負債の部

流動負債

当第2四半期会計期間末における流動負債は、前事業年度末の15,013,114千円から1,355,480千円(9.0%)減少の13,657,634千円となりました。これは主として、未払法人税等が47,562千円(6.7%)の増加となったものの、短期借入金1,000,000千円(100.0%)の減少、1年以内返済予定の長期借入金が403,898千円(3.1%)の減少となったこと等によるものです。

固定負債

当第2四半期会計期間末における固定負債は、前事業年度末の23,704,776千円から691,305千円(2.9%)増加の24,396,082千円となりました。これは主として、長期借入金が687,744千円(3.0%)の増加となったこと等によるものです。

③ 純資産の部

配当金の支払い494,640千円があった一方、四半期純利益を1,324,318千円計上したことにより、利益剰余金が前事業年度末比829,678千円(2.4%)の増加となり、当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末の37,292,820千円から829,678千円(2.2%)増加の38,122,499千円となりました。なお、自己資本比率は50.0%(前事業年度末は49.1%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年7月29日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,704,183	4,545,475
営業貸付金	72,267,419	70,608,437
販売用不動産	40,862	25,300
前払費用	22,569	46,528
その他	371,490	353,587
貸倒引当金	△79,800	△77,900
流動資産合計	75,326,724	75,501,428
固定資産		
有形固定資産	99,688	107,149
無形固定資産	30,065	25,017
投資その他の資産		
その他	554,234	542,619
投資その他の資産合計	554,234	542,619
固定資産合計	683,987	674,786
資産合計	76,010,712	76,176,215
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,000,000	—
1年以内返済予定の長期借入金	13,151,856	12,747,957
未払金	60,196	52,914
未払費用	38,067	39,457
未払法人税等	712,062	759,624
預り金	12,224	15,661
前受収益	9,694	7,721
賞与引当金	27,907	31,812
その他	1,106	2,485
流動負債合計	15,013,114	13,657,634
固定負債		
長期借入金	22,603,149	23,290,894
退職給付引当金	90,700	90,000
役員退職慰労引当金	989,438	993,499
その他	21,489	21,689
固定負債合計	23,704,776	24,396,082
負債合計	38,717,891	38,053,716
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,307,848	2,307,848
利益剰余金	34,986,222	35,815,901
自己株式	△1,250	△1,250
株主資本合計	37,292,820	38,122,499
純資産合計	37,292,820	38,122,499
負債純資産合計	76,010,712	76,176,215

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収益		
営業貸付金利息	2,194,680	2,415,145
その他の営業収益	617,580	514,165
営業収益合計	2,812,261	2,929,311
営業費用		
金融費用	150,267	135,863
その他の営業費用	738,418	751,074
営業費用合計	888,686	886,937
営業利益	1,923,575	2,042,373
営業外収益		
受取利息	10	12
関係会社貸付金利息	309	100
受取手数料	651	220
雑収入	177	485
営業外収益合計	1,148	818
経常利益	1,924,723	2,043,192
特別利益		
固定資産売却益	187	—
特別利益合計	187	—
税引前四半期純利益	1,924,910	2,043,192
法人税、住民税及び事業税	684,725	724,253
法人税等調整額	△5,256	△5,379
法人税等合計	679,468	718,874
四半期純利益	1,245,442	1,324,318

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,924,910	2,043,192
減価償却費	16,022	16,352
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,100	△1,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,288	3,905
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,800	△700
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,625	4,061
固定資産売却損益(△は益)	△187	—
受取利息	△319	△112
営業貸付金の増減額(△は増加)	27,631	1,658,981
破産更生債権等の増減額(△は増加)	558	—
販売用不動産の増減額(△は増加)	△11,402	15,562
未払消費税等の増減額(△は減少)	△3,570	△12,968
未払法人税等(外形標準課税)の増減額(△は減少)	△37,232	△34,137
その他の資産の増減額(△は増加)	△108,796	10,938
その他の負債の増減額(△は減少)	△39,688	8,282
小計	1,784,740	3,711,456
利息の受取額	319	112
法人税等の支払額	△733,059	△642,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,051,999	3,069,015
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,863	△17,221
有形固定資産の売却による収入	187	—
無形固定資産の取得による支出	△421	△1,544
敷金の回収による収入	23	—
関係会社貸付金の純増減額(△は増加)	△5,000	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,073	△18,766
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△1,000,000
長期借入れによる収入	5,600,000	7,400,000
長期借入金の返済による支出	△6,504,800	△7,116,154
配当金の支払額	△492,567	△492,802
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,397,367	△1,208,956
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△370,441	1,841,291
現金及び現金同等物の期首残高	2,538,408	2,704,183
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,167,966	4,545,475

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

第1四半期会計期間の四半期報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。